

2019年度 地域課題解決型活動プロジェクト報告

保育所のあり方に関する研究プロジェクト

源 証香・瀧口 優・加藤 洋子*・金田 利子**・佐野 英司***

活動実績の概要

1. 経過

2009年から科研費を得て、小平の学園東町や鈴木町を中心として調査活動を行ってきた「子どもの人権を守る地域コミュニティづくりと保育所のあり方に関する研究会」（以後「保育所のあり方研究会」）は、ほぼ10年にわたる調査とコミュニティづくりをすすめてきた。2018年3月で科研費の補助期間を終了したが、地域との繋がりや取り組みについては2019年度子ども学研究所の特定課題研究として継続することになった。2018年12月に2回目の子育てカフェをゆたか保育園で実施し、50名近い参加者があった。2019年度は6月に花小金井愛育園を会場にして第3回子育てカフェを実施し、地域子育て支援紙「のほりほう」11号を発行して小平市の東部地域の保育園や公民館な

どに配布した。

カフェの準備にあたっては協力園の園長先生をはじめ、地域の民生児童委員、地域包括支援センター、児童養護施設などからの参加があり、保育所の在り方を研究する上で示唆するところが大きかった。特に子育てカフェを巡回して保育園で実施することによって、園同士の協力関係が作られるようになり、より内容の深いカフェとして準備できた。更に地域から参加している有志がその人脈の中で新たな企画を提起し、地域のつながりを作っていくことに貢献している。

研究者は全体の準備を押さえながら、子どもの発達や世代間交流の視点を位置付け、より質の高い「ひろば」づくりに貢献している。以下この1年の経過である。

<2019年>

| No | 月 | 日 | 曜 | 名称 | 内容 |
|----|----|----|---|-----------------|--------------------|
| 1 | 4 | 20 | 土 | 子育てカフェ準備会議 | スタッフ及び各園長等の参加で打ち合せ |
| 2 | 6 | 8 | 土 | 子育てカフェ（花小金井愛育園） | スタッフを含め90人参加 |
| 3 | 8 | 18 | 日 | あり方研究会 | まとめと科研費の申請について |
| 4 | 9 | 30 | 月 | あり方研究会 | まとめと科研費の申請について |
| 5 | 10 | 22 | 火 | あり方研究会 | まとめと科研費申請書の最終確認 |
| 6 | 12 | 21 | 土 | 子育てカフェ準備会議 | スタッフ及び各園長等の参加で打ち合せ |

<2020年>

| | | | | | |
|--|---|----|---|------------|--------------------|
| | 1 | 27 | 月 | あり方研究会 | 子育てカフェ準備及びまとめ |
| | 2 | 8 | 土 | 子育てカフェ準備会議 | スタッフ及び各園長等の参加で打ち合せ |

*客員研究員 聖心女子大学

**客員研究員 東京国際福祉専門学校

***嘱託研究員

2. 結果と課題

年間2回のカフェの実施とその準備、そして地域ネットワークづくりに関する研究の2本立てですすめてきたが、年度末に発生した新型コロナウイルスや様々な課題の中で今年度の子育てカフェは1回の開催となった。また会議の中止も余儀なくされたが、研究の面では過去の調査の分析とまとめを行い、年度末で2011年調査と2017年調査の比較、実践研究について整理ができた。

9月から10月にかけて今後の研究の継続を目指して科研費の申請を行い、「地域コミュニティづくりにおける世代間交流の価値」として3年間の研究が認められた。カフェの充実と共に、保育所を基盤とした世代間交流と多文化共生の地域作りを理論的、実践的にすすめていきたい。